

Event Schedule 2012年1～3月

日 付	イベント名	場 所	時 間
1月15日(日)	第7回 はじめての茶道体験 ※要申込(先着順)・体験料500円(1名) 定員各回10名程度	茶室	①10:00～11:00 ②13:30～14:30
1月15日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート「二胡～やすらぎの調べ～」	エントランスホール	①13:00～13:30 ②15:00～15:30
1月17日(火)～29日(日)	ひなの国九州フェスタ2012	エントランスホール	9:30～17:00
1月21日(土)	第13回 親子で茶道体験 ※要申込(先着順・1月4日(水)より受付開始) 体験料500円(親子1組2名)・定員各回5組10名程度	茶室	①10:00～11:00 ②11:30～12:30 ③13:00～14:00 ④14:30～15:30
1月29日(日)	九州歴史資料館 開館1周年記念シンポジウム 「祈りの世界 ー北部九州の霊山と経塚ー」	ミュージアムホール	10:00～16:00
2月19日(日)	九博子どもフェスタ	ミュージアムホール エントランスホール	10:00～16:30予定
2月28日(火)～3月4日(日)	ステンドグラスアート九州会作品展	ミュージアムホール	9:30～17:00
3月6日(火)～18日(日)	平成23年度 筑紫地区文化財写真展「ちくし再発見～わがまちの宝～」	エントランスホール	9:30～17:00

※上記イベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細はホームページやチラシをご覧ください。

Next Exhibition

平山郁夫 シルクロードの軌跡 2012年4月3日(火)～5月27日(日)

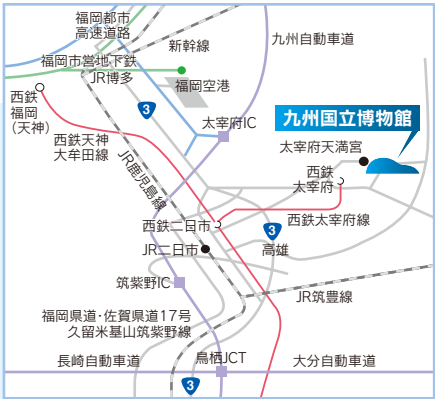
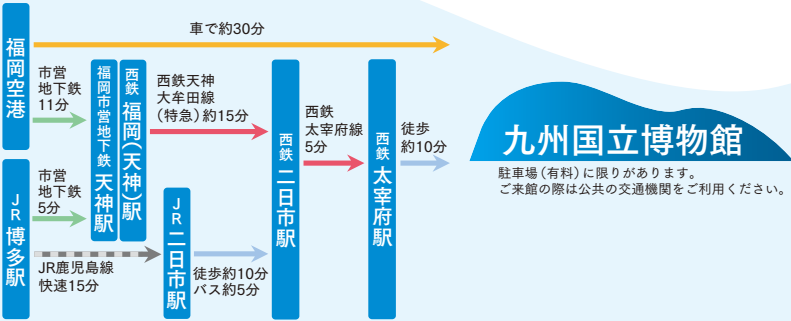
1945年、15歳で被爆した平山郁夫氏(1930-2009)は平和への強い思いを胸に画業を志し、1959年「仏教伝来」で院展に入選、画家としての方向性を決定づけた。1962年には「東西宗教美術の比較研究」のためヨーロッパを周遊し、1967年には法隆寺金堂第3号壁画の復元模写を行うなど、東西宗教美術の比較研究を実践した。1968年、玄奘三蔵の足跡を辿るアフガニスタン旅行を皮切りに、アジア各地を歴訪、各地の文化遺産の保護の重要性を感じて、文化財保護活動に邁進した。

本展では平山郁夫氏が長年にわたって心血を注いできた文化財保護に関わる偉大な活動を顕彰し、その62年に及んだ画業と幅広い業績をととして文化財保護の重要性や課題などを紹介する。



パルミラ遺跡を行く・夜 平山郁夫画 平成18年
平山郁夫シルクロード美術館蔵

交通案内



●開館時間

9:30～17:00(入館は16:30まで)

●休館日

月曜日 ※1月2日(月)、9日(月・祝)は開館、10日(火)は休館

●文化交流展観覧料(特別展は別料金)

ー 般 …………… 420円(210円) 大学生 …………… 130円(70円)

●特別展「細川家の至宝 ー珠玉の永青文庫コレクションー」観覧料

ー 般 …………… 1,300円(1,100円) 高校生・大学生…1,000円(800円)
小学生・中学生 …… 600円(400円)

※()内は20名以上の団体料金。※障がい者とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。
※高校生及び18歳未満、70歳以上の方は、文化交流展は無料。文化交流展示室入口にて年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展(平常展)もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は文化交流展は無料。特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に学生証等をご提示ください。
*特別展「細川家の至宝 ー珠玉の永青文庫コレクションー」の開催期間は1/1(日・元旦)～3/4(日)です。



〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
ご案内 NTTハローダイヤル
050-5542-8600
※オペレーターが対応します。通話料が発生します。
<http://www.kyuhaku.jp>



info

九博メルマガ
会員募集中!

毎月1日・15日にメール
マガジンを配信してい
ます。展示やイベント情報な
どをお届けします。詳しく
はホームページを。



九州国立博物館 季刊情報誌

アジアージュ
Assiage
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

vol. 23

武と美の記憶を伝える永青文庫。

特別展 珠玉の永青文庫コレクション

細川家の至宝
The Lineage of Culture - The Hosokawa Family Eisei Bunko Collection

2012年1月1日(日・元旦)～3月4日(日)

※期間中、展示替えあり

永青文庫外観(撮影:上岡伸輔)



料理家
ほそかわ あい
細川 亜衣 さん

1972年生まれ。大学卒業後イタリアで料理を学び、帰国後は料理家として活動。2009年護光さんと結婚。主な著書に「愛しの皿」(筑摩書房)など。

陶芸家
ほそかわ もりみつ
細川 護光 さん

1972年東京生まれ。陶芸家。三重県・伊賀の土楽窯で福森雅武さんに師事。神奈川県湯河原町にある父・護照さんの窯場・不東庵を経て2006年熊本に開窯。

学芸部 企画課 文化交流展示室
かわばた のりこ
川畑 憲子 研究員

特別展「細川家の至宝 ―珠玉の永青文庫コレクション―」を担当。専門分野は漆工芸品。

現在進行形で続く、暮らしの中の美

特別展
細川家の至宝
―珠玉の永青文庫コレクション―
記念鼎談

特別展「細川家の至宝 ―珠玉の永青文庫コレクション―」の開催を前に、細川家現当主のご子息で熊本在住の細川護光さん、亜衣さんご夫妻を訪ね、細川家や家族のこと、永青文庫の好きな作品などについて話を聞きました。「武と美に生きた」細川家700年のバトンを受け取ったお二人は、次の世代へ何を伝えようとしているのでしょうか。

伝統と、新たな家族の歴史

護光さん (以下、敬称略) ようこそいらっしゃいました。ここは江戸時代、細川家の菩提寺、泰勝寺があった場所。明治になって廃仏毀釈により廃寺となり、代わりに先祖を祀る御祠堂が建てられました。この建物は参詣者の休息所として建てられた家だと聞いています。僕が三歳のときに家族で熊本に移り、この家に住むようになったのです。

川畑 どんな幼少時代を過ごされたのですか。

護光 この広い屋敷は子どもにとっていい遊び場でしたが、暮らしはごく平凡でした。親父以前の代までは能楽などの稽古事があったようですが、親父が細川家の慣習を嫌い、僕らに強要することはなかったですね。

川畑 やはり幼いころから美しいものに触れていらっしゃったんですか。

護光 よく言われるんですが、両親とも生活にあまりこだわりがなく、家で使う器も頂き物ばかりでした。歴史的、美術的価値の高いものは全部東京の永青文庫に納められていますし。祖父の代までは美術館にあるような絵を自宅に掛けて、普段使う器もちゃんとしたものを選んでいました。

川畑 亜衣さんから見て、細川家はどんな家だと感じておられますか。

亜衣さん (以下、敬称略) 個々を尊重しながらも、家族のつながりが強い家だなと感じますね。私の仕事も尊重してくださるし、細川家の嫁としてこうあるべきだなどと言われたことはないんです。

川畑 ご結婚されて教わった細川家の味ってあるんでしょうか？

亜衣 私は料理の仕事をしていますので結婚前から興味があったのですが、義母はあまりの忙しさに料理をする時間がなかったようです。

護光 家の中よりも外で力を発揮する人でしてね。

亜衣 細川家の古いレシピが残されていて、個人的に興味を持っています。お殿様が食べていた当時のレシピをそのまま作るのではなく、自分なりに咀嚼して、例えばおせち料理の一品として私たち家族の中に受け継いでいくとか。そういうことができたらいいですね。料理は美術品のように形として残りませんが、家族の歴史の中に残っていけばいいなと。

川畑 細川家の伝統を守りつなぐことへの責務とか、私たちはそんなことから考えてしまうんですが、お二人はごく自然に、新しいスタイルを築いていらっしゃる。お二人のお仕事や活動にも伝統と新しさを感じます。

護光 細川家は代々お茶と深く関わってきていますから、焼き物という家とのつながりが強い。自分では意識してなくても周りの人から結び付けて見られているなど思うことはあります。僕は実際に使えるものが好きなものですから、骨董にしても普段使える物を選んでいきます。

細川流、永青文庫の愉しみ方

川畑 護立さんのことで、何か伝え聞いていることなどありますか。

護光 背が高くすらっとした優しいおじいさんだったと聞いていますが、曾祖父のコレクションを見ると、彼の好みとか、いいものを見分ける眼力が伝わってきます。刀剣の鑑定は一流だったと言われる通り、刀類は本当にすごい。

川畑 今回の特別展でも一番広いスペースで護立さんのコレクションを展示します。永青文庫の所蔵品で、お好きな作品は？

護光 今は“書”です。読めるわけではなく、内容がよく分からなくても、その雰囲気や素晴らしい。自分の家に掛けて毎日見ていたいなとか、そういう観点になってしまいます。川畑さんはどの作品に注目されますか。

永青文庫



昭和25年、16代・細川護立が、細川家伝来の歴史資料や美術品などを後世に伝えるため財団法人として設立。昭和47年から一般公開を始め、翌48年博物館法による登録博物館に。建物は東京都文京区目白台の広大な細川家の屋敷跡の一角にあり、昭和初期に細川家の家政所(事務所)として建築されたもの。

細川護立 (1883 ~ 1970)



細川家16代で永青文庫の設立者。近代日本を代表する美術品コレクターでもあり、禅僧の書画から刀剣、中国・西アジアの美術工芸品までその蒐集品は多岐にわたる。同時代を生きた横山大観、菱田春草など日本画家の活動を支え、また国の文化行政にも貢献した“美の保護者”。



×



×



1 護光さんの仕事場である工房は、自宅の敷地内にあります。「昔から尊敬している陶芸家の福森雅武さんの下で勉強してみたかった。それに、田舎で生活できる仕事があった」と護光さんは焼き物を仕事にしたきっかけを話します。2 護光さんが追求するのは“用の美”。窯は阿蘇にあり、工房から運んで焼き上げているとか。3 川畑研究員お気に入りの作品「田植蒔絵硯箱」(江戸時代・17~18世紀、東京・永青文庫、展示期間：1月1日~2月5日)

特別展「珠玉の永青文庫コレクション」

細川家の至宝

The Lineage of Culture—The Hosokawa Family Eisei Bunko Collection

2012年1月1日(日・元日)~3月4日(日)

総点数8万点を超える、永青文庫の所蔵品の中から選りすぐりを展示。肥後熊本藩五十四万石の大名として国を治めた細川家ゆかりの名宝が一堂に。

国宝 時雨螺鈿鞍
鎌倉時代・13世紀
東京・永青文庫
*展示期間／1月1日~22日

五輪書
江戸時代・17~19世紀
東京・永青文庫
*期間中、巻替えあり

国宝 金銀錯狩獐文鏡
中国河南省洛陽金村出土
中国 戦国時代・前4~前3世紀
東京・永青文庫

新年のスタートは、博物館で

福を呼ぼう！展示室の縁起物

初詣の後は、九博でお正月気分をさらに盛り上げませんか？
今回は 4F 文化交流展示室の作品の中から、新春にぴったりの
きらびやかな作品&縁起物をセレクトしてご紹介。これを見て、
2012年も良い年にしよう！

Vテーマ B

鹿・ほととぎす図屏風

江戸時代 17世紀 九州国立博物館蔵

【展示期間：2012年1月1日～2月12日】

鹿やほととぎすの細かな描写と、金地の装飾的な背景。琳派を連想させる、狩野重信の作品



期間／2012年1月1日(日・祝)～29日(日)
場所／文化交流展示室 アプローチ付近 E

の調度を飾る文様が『源氏物語』の「初音」帖に題材を得ていることに由来します。金銀をぜいたくに使い、高度な蒔絵技術を尽くして描かれた豪華な源氏の世界は、終日見ても見飽きないことから“日暮らしの調度”とも呼ばれました。

国宝 初音蒔絵眉作箱

江戸時代・17世紀

眉を描いたり、額際を化粧したりするときを使う道具を入れる箱。刷毛や筆、紅猪口などが納められています

国宝 初音蒔絵薫物壺・台

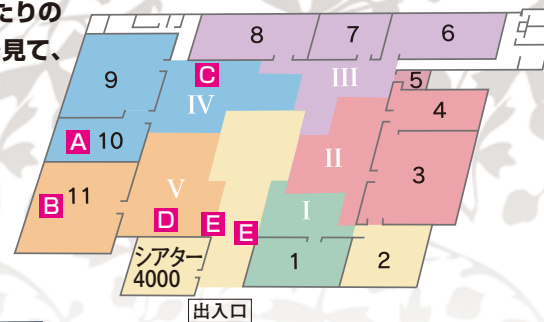
江戸時代・17世紀

薫物壺とは薫物(粉末にした香木や香料を練り固めたお香)を入れるための容器で、脚の付いた六角形の台に載せて飾ります

毎年恒例の新春特別公開「国宝 初音の調度」。今回ご紹介する3件は、いずれも九州初公開です。1月3日(火)15:00から展示室内で聴講無料の展示解説「ミュージアムトーク」も実施。新春を飾るにふさわしい華やかな大名婚礼調度の世界、ぜひご覧ください！

担当者の
ヒトコト

4F 文化交流展示室



テーマ別に
もっと見てみよう

文化交流展示室ガイド

人類の歴史は交流の連続。日本とアジア諸国との文化交流史にスポットを当てた文化交流展示室では、大きく五つのテーマで作品を展示。一度全体を観て、それから好みの展示、気になる作品をじっくり観賞するのがコツ。

Ⅲテーマ 遣唐使の時代

●古代：奈良～平安時代

中央集権的な政治体制をとるため日本が利用した仏教と都城、そして遣唐使。シルクロードを通じて世界の品々が集まる長安との交易により、仏教、漢字など新しい文化が流入しました。その窓口となった大宰府に焦点を当て、国際色豊かな文物を紹介。



見どころは当時の“宝船”、遣唐使船の積荷を復元したコーナー。遣唐使が持って行ったものと持ち帰ったもの。実際に手触りや香りを確かめて



持って行ったもの
絹、水晶、金

持ち帰ったものは
仏教儀礼の必需品
香木や経典など

Ⅳテーマ C

重要文化財

桜螺鈿鞍

鎌倉時代 13世紀

文化庁蔵

【展示期間：2012年1月1日～2月12日】

桜の図様が良く整い、螺鈿の技術が精妙。鎌倉時代における螺鈿鞍の代表的な遺品



Ⅰテーマ 縄文人、海へ

●旧石器時代～縄文時代

人々がナウマンゾウを追いかけて、狩猟と漁労、ドングリなどの採集生活を送っていた時代。精巧な旧石器、不思議な文様の縄文土器、おしゃれのための玉や骨製のかんざし、まじないのための土偶などを展示。

(左) 火焰形土器・縄文時代、新潟県・津南町蔵

(右) 小池原上層式・鉢、縄文時代、九州歴史資料館蔵



岡本太郎を魅了した
いわゆる「火焰土器」



デコレーション控えめ
シンプルなデザイン

1万年近く続く縄文時代には各地で様々な形・文様の土器が使われていました。特に右の土器の文様は九州と西部瀬戸内で見られ、海を介した交流が考えられます

Ⅳテーマ アジアの海は日々これ交易

●中世：鎌倉～室町時代

アジアの貿易商人たちが自由に海を往来し、港町が最も元気だった中世。唐物として将軍家に愛された美術、工芸品をはじめ中国趣味の新しい文物が輸入されました。ダイナミックな交流の時代の勢いを展示から感じて。

発掘された大量埋蔵銭 15世紀 東京国立博物館蔵



10万枚もの埋蔵銭！持ち主が財産を守るため埋めたと考えられています。当時は国内でも中国のお金が流通していました

福岡県久山町で出土
今の価値で約1千万円！

Ⅴテーマ 丸くなった地球、近づく西洋

●近世：安土桃山～江戸時代

鎖国による限られた交易の中、鉄砲やキリスト教などヨーロッパから全く新しい文化がもたらされ、日本の社会や生活は大きく変わります。やがて自由な貿易を求める黒船が来航し、日本は新時代を迎えます。



エキゾチックな染付、優美な柿右衛門、華麗な金襴手など欧州人のために作られた伊万里焼

とってもゴージャス！
欧州人を魅了した
日本の美

Ⅴテーマ D

光悦色紙

江戸時代 17世紀

九州国立博物館蔵

【展示期間：～2012年1月15日】

古今・後撰に次ぐ第3番目の勅撰和歌集「拾遺和歌集」から、藤原千景の春の和歌を紹介。長寿を祝う歌



“さきそめていくよへぬらん桜花色をば人にあかず見せつ”

新春特別公開

徳川美術館所蔵 国宝 初音の調度

お正月恒例、九州国立博物館の新春特別公開。4回目となる今年も、徳川美術館が所蔵する大名婚礼調度の最高傑作、国宝「初音の調度」を展示します。

「初音の調度」は、徳川三代将軍・家光の長女である千代姫が寛永16(1639)年、尾張徳川家二代・光友に嫁ぐ際に持参した嫁入り道具。“初音”という名称は、こ

迫力！世界で唯一の 常設スーパーハイビジョンシアター

4階文化交流展示室に入っすぐ、左手にある上映室が「シアター 4000」。ここは現行ハイビジョンの16倍にあたる、超高精細の映像を上映する、世界で唯一の常設スーパーハイビジョンシアターです。走査線の本数はなんと4000本（現行のハイビジョンテレビでは1125本）。350インチの大画面に拡大して映し出される映像は、まるで手を伸ばせば触れられそうなほど臨場感にあふれ、実物を虫眼鏡でのぞいたような鮮明さ。その色彩と画質は観た人にしか語れません。

現在、月替わりで5本の作品を上映中。

上映作品

1・3月

不思議・再発見！200年前の日本地図

江戸時代の地理学者・伊能忠敬が55歳を過ぎて乗りだした、日本地図制作という大事業。スーパーハイビジョンならではの美しい映像で、今から約200年前に完成した精巧な日本地図の世界がよみがえります。

2月

海の正倉院・沖ノ島／世界をとらえた日本のわざと美

海の正倉院・沖ノ島では「海の正倉院」と讃えられてきた沖ノ島出土の祭祀品を鮮明な画像で紹介。世界をとらえた日本のわざと美では日本が世界に誇る工芸技術、漆。近世、西洋の伝統的な製品を蒔絵や螺鈿、鮫皮など日本の技術で飾った工芸品が輸出され、世界中の人々を魅了しました。スーパーハイビジョンで初めて見る事が可能になった、美の小宇宙。

ほかにも
ある！

文化交流展示室内のシアター

阿蘇4火砕流と大宰府（約6分）

■基本展示室Ⅰテーマ

9万年前に起こった阿蘇山の大噴火。火砕流は阿蘇火砕流と呼ばれ、樹木をなぎ倒し、動物をも襲いました。その広がり半径200kmにも及び、大宰府にも厚く堆積しています。噴火の迫力と9万年間の時空の旅をお楽しみください。



装飾古墳バーチャルシアター（約10分）

■基本展示室Ⅱテーマ

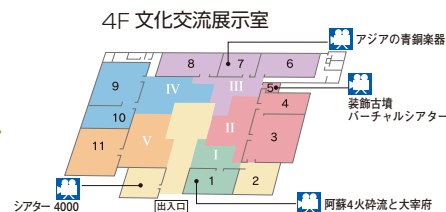
保存のために内部への立ち入りが限定されている装飾古墳を、あたかも実際に石室に入って装飾壁画を見ているかのように最新の技術でリアルに再現。



アジアの青銅楽器（約8分）

■基本展示室Ⅲテーマ

中国・ベトナムの奥地にある村に伝わる銅鼓やゴングという青銅楽器を奏でる祭り、インドネシアの古都ソロの王宮でのガムランの演奏など、貴重な映像をハイビジョンで紹介。



シアター 4000

上映時間／10:00～16:30、30分ごとに上映中（約16分）
4階文化交流展示室内
※展示室への入場には観覧料が必要です
http://www.kyuhaku.jp/exhibition/exhibition_info_t4.html

太宰府歴史さんぽ



写真提供：太宰府市

2012年の開運祈願 梅香る天満宮を通りゃんせ

菅原道真公の墓所の上に社殿を造営し、その神霊を奉る神社。学問の神としてあがめられ、国内外から年間約700万人、初詣には正月三が日で約200万人の参拝者が訪れるといわれています。新春、春の催しは1月7日（土）「うそ替え神事」「鬼すべ神事」、1月28日（土）～2月5日（日）「節分厄除祈願大祭」、3月4日（日）「曲水の宴」。また境内の献梅は極早咲きから極遅咲きまで約200種6000本あり、1月下旬～3月中旬、その香りを楽しませてくれます。



太宰府天満宮
太宰府市宰府 4-7-1
☎092-922-8225

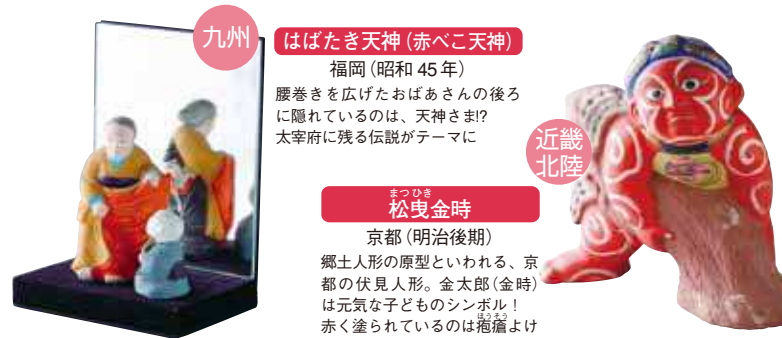
きゅーはくなんでもファイル

Kyuhaku Nandemo File: vol.2

あじっばであそぼ！

あじぎやら全面リニューアル ニッポン全国、郷土玩具めぐり

あじっば奥にあるギャラリー「あじぎやら」が2012年3月まで郷土玩具の展示室に。子どもの健やかな成長を願って作られたレトロな張り子の玩具や土人形など約100点を公開。郷土色豊かな人形を地域別に並べたコーナーやいろんな形のだるまを見比べて楽しむコーナーなど、味わい深い郷土玩具の世界を一点一点、じっくり味わって。



九博ニュース

ボランティアと一緒に体験イベント

◆餅つき体験

1月3日（火）10:00～
毎年大好評の餅つき体験。ついたお餅は一口餅にして配布します。
※餅つき体験はお子さまのみ参加できます
※600食配布予定（なくなり次第終了）



◆書き初め体験

1月8日（日）11:30～
お正月といえば書き初め。今年の目標などを書いて2012年、気持ちを新たにスタートしましょう。
※定員200名（なくなり次第終了）



◆九博子どもフェスタ

2月19日（日）10:00～
作ったり、触って遊んだり、探検ツアーに出掛けたり、楽しい参加体験型イベントがいっぱい。



●上記イベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細はホームページをご覧ください

おすすめ九博名物

ミュージアムショップ

2012年、書き初めグッズ

書道のイメージを覆す、カジュアルでかわいい書道具。こんなおしゃれなグッズがあれば、新年の書き初めにも楽しくトライできそう。贈り物にもおすすめです。



手ぬぐい（書道具）
1,050円
九博ミュージアムショップ限定のオリジナルデザイン

色墨（古代紫）
1,260円
紫色の美しい濃淡が楽しめるので、絵手紙、水墨画にも挑戦しやすくなる！

有田焼ミニ硯
2,800円
珍しい陶器の硯。かわいいうすていカラーと手のひらサイズが人気

レストラン・グリーンハウス

営業時間／11:00～16:00（特別展期間中は～17:00）

熊本風ぽかぽかスタミナメニュー

今回の特別展期間限定メニューは熊本尽くし。甘いしょうがだれでソテーした阿蘇育ちの豚ひき肉と熊本名物・高菜のピラフは、オニオンフライの食感とガーリックチップがアクセント。冬



阿蘇豚と高菜のピラフ（だご汁付き）1,680円

野菜たっぷりの温かいだご汁と一緒にどうぞ。熊本南関揚げなどが味わえる「6周年記念肥後弁当」（2,100円）も美味。

海老＆塗りのお盆でお正月らしさもプラス